

平成26年度3大学技術職員連携会議報告

日時：平成26年12月6日（土） 12：00～13：30

場所：長崎大学工学研究科2F小会議室

長崎大学工学研究科教育研究支援部総括技術長挨拶

1. 各大学の技術部組織及びものづくり・社会貢献事業の取組みの現状

長崎大学 技術職員39名

中期目標、中期計画に沿って平成26年4月に文教地区技術部が設置され、平成27年度中に全学的な組織に移行する計画が持ち上がっている。

教育研究支援部の取組みとして、平成26年3月に長崎大学にて九州地区総合技術研究会を開催した。スキルアップ事業として学部・研究科等教育研究推進経費等から予算を頂き、技術職員から要望を募り、実施している。（フォークリフト運転、有機溶剤作業、情報処理技術者など）

教育研究支援部の活動資料の提示、社会貢献事業の紹介、創造工房の取組み紹介を行った。

情報処理委員会の活動として学校図書蔵書検索、業務依頼管理システム、創造工房のホームページの立ち上げなどを行う。工学部の消費電力のモニタリング、サーバーの保守管理を行う。

平成26年度11月に技術職員を対象としたマネジメント研修を実施している。

（奨励研究の活用、他大学の技術部の講演）

新潟大学 技術職員42名

技術部活動 夏休み工作教室の実施、科学の祭典等の出展、研修会、報告集の発行、衛生管理者による安全巡視、WEB管理等

外部との交流 長岡技科大、長岡高専との研修、信州大学との交流、技術研究会の参加

ものづくり・社会貢献事業の取組み 工学力教育センターにおける学生ものづくりへの支援

（学生ロボット、学生フォーミュラー、トップグラディエーツ育成事業）

富山大学 技術職員30名

技術部活動 技術職員研修、グループ研修、技術報告集の発行、各研究会の参加

学校開放事業の協力（夢大学 in 工学部、サイエンスフェスティバル）

2. 今後の3大学連携について

以下のテーマについて進めていくことので承がなされた。

i) 3大学技術職員メーリングリストの作成

3大学の技術的な情報の共有とサポート、技術データの構築を目的に各大学の工学系技術職員に呼びかけてメーリングリストを作成する。サーバーは長崎大学が担当する。

ii) 実験実習の安全対策について情報の共有を進める。（ヒヤリハットの取組み、危険予知訓練）

iii) ガラス細工分野の技術交流の検討。(大学間の製作依頼が可能かを検討)

